

- ◎礼拝説教：2020年2月16日
- ◎説教者：中村準一 牧師
- ◎タイトル：帰って来たヤコブ
- ◎今日の聖書：創世記32章1－12節

1さて、ヤコブが旅路に進んだとき、神の使たちが彼に会った。 2ヤコブは彼らを見て、「これは神の陣営です」と言って、その所の名をマハナイムと名づけた。 3ヤコブはセイルの地、エドムの野に住む兄エサウのもとに、さきだって使者をつかわした。 4すなわちそれに命じて言った、「あなたがたはわたしの主人エサウにこう言いなさい、『あなたのしもべヤコブはこう言いました。わたしはラバンのもとに寄留して今までとどまりました。 5わたしは牛、ろば、羊、男女の奴隷を持っています。それでわが主に申し上げて、あなたの前に恵みを得ようと人をつかわしたのです』」。 6使者はヤコブのもとに帰って言った、「わたしたちはあなたの兄エサウのもとへ行きました。彼もまたあなたを迎えようと四百人を率いてきます」。 7そこでヤコブは大いに恐れ、苦しみ、共にいる民および羊、牛、らくだを二つの組に分けて、 8言った、「たとい、エサウがきて、一つの組を撃っても、残りの組はのがれるであろう」。 9ヤコブはまた言った、「父アブラハムの神、父イサクの神よ、かつてわたしに『おまえの国へ帰り、おまえの親族に行け。わたしはおまえを恵もう』と言われた主よ、 10あなたがしもべに施されたすべての恵みとまことをわたしは受けるに足りない者です。わたしは、つえのほか何も持たないでこのヨルダンを渡りましたが、今は二つの組にもなりました。 11どうぞ、兄エサウの手からわたしをお救いください。わたしは彼がきて、わたしを撃ち、母や子供たちにまで及ぶのを恐れます。 12あなたは、かつて、『わたしは必ずおまえを恵み、おまえの子孫を海の砂の数がたいほど多くしよう』と言われました」。

#### ◎宣教

ヤコブは父と兄を騙して、父の祝福を手に入れることに成功しましたが、兄に恨まれて、家を出なければならなくなりました。そこで、母の実家であるカランに行ったのでした。彼はそこで20年間、羊飼いとして働き、成功しました。彼は妻たちと子供たちを連れて、故郷に帰ることにしましたが、兄エサウを恐れました。はたして、兄はヤコブを赦してくれのでしょうか。兄の性格を考えれば、その可能性はありません。そこで、一時的な和解をして、しばらくの間だけでも、兄と平和に過ごすことを考えました。まともに兄と争うならば、ヤコブは家族と全財産を失ってしまうかもしれません。彼はエサウの機嫌をとるために、莫大な土産を用意しまし

た。エサウと仲良くするために、しもべたちに挨拶の仕方まで教えました。さらに、彼は家族たちを先に行かせ、ひとり残って、夜が明けるまで、神の使いと組打をして、祝福を求めたのでした。彼は腰の骨を折るほどの大けがをしましたが、神の祝福を得ることができました。そして、イスラエルという名を戴いたのでした。イエス・キリストを信じている私たちも、神の祝福を約束されているのです。私たちも最後まで諦めずに、神の祝福を求め続け、必ず勝利することを信じましょう。

私たちキリスト・イエス様によって、回心へと導かれ「キリストの囚人」となった者です。絶えず目を神様に向けて、神様の恵みによって与えられたそれぞれの任務を、走り続けようではありませんか！ ハレルヤ！